

8月31日(水) 本年度第8回(通算2600回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル

『ライラセミナー報告会』

担当/新世代委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・ 畠山 優那さん (釧路北RAC)

☆メイクアップ

8月26日～28日	中嶋嘉昭君、泰地浩幸君、萩原昭博君、本間明美君	(ライラセミナー)
8月28日	足立功一君、小林裕幸君、坂入信行君、富樫孝之君	(ライラセミナー)

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】

本日の出席者 37名 出席率 57% 前々回の(8/10) 修正出席率 72%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 190,000円)

- ・ライラお手伝いの皆様ご苦勞様でした
- ・中嶋地区委員長はじめ実行委員の皆様ご苦勞様でした
- ・ライラセミナー無事終了しました。ご協力ありがとうございました
- ・71回目の誕生日です
- ・ダンス全道大会無事終了致しました
- ・ご無沙汰しています

能登信孝君、田中和紀君
石井東洋彦君
中嶋嘉昭君
高橋邦弘君
小野寺英夫君
～松田信明君

☆会長挨拶 《能登会長》



今日の例会は「ライラセミナー報告」になっております。先週8月26日27日28日と音別ロータリークラブがホストになり、白糠、釧路北クラブがコ・ホストで音別町体験学習センター「こころみ」で開催されました。

RYLA(ライラ)とは「ロータリー青少年指導者養成プログラム」で、その目的は自然環境に恵まれた場所で、異なった職業に従事する青年達が共同生活を通じ、心を開き語り合い研修し、親交を深めることで、より良き社会人として、明日をリードする指導者として更に成長することをねらいとしています。

当クラブからは田村会員、小松会員、石井会員、田中幹事、私が参加しました。また中嶋地区ライラ委員長、萩原地区委員、富樫、泰地、坂入、小林、本間各実行委員にお手使いいただき有難うございました。クラブからは田中幹事の社員2名の女性を参加していただきました。後ほどセミナーに出席したアクトの畠山さんと、新世代委員から詳しく報告させていただきます。

☆幹事報告 《田中幹事》



- ①ガバナー公式訪問の際の増田ガバナーとの記念写真が届いております。パーソナルBOXに入れておきました。
- ②PETS 地区協の報告書が届いております。参加された方のパーソナルBOXに入れておきました。
- ③ロータリーの友9月号が届いております。こちらもパーソナルBOXに入れてありますのでご覧になって下さい。又、ザ・ロータリアン9月号が届いておりますので、こちらは回覧させていただきます。
- ④西クラブよりHP開設のご案内が届いております。
- ⑤東クラブより例会場変更のお知らせが届いております。諸般の事情によりシーサイドホテルが閉館のためアクア・ベールになります。尚、例会日、例会時間は変更ありません。
- ⑥先週25日(木)に行われました釧路クラブの「ロータリーカップ観戦例会」に会長・幹事含め7名で参加して参りました。

- ⑦各クラブより9月例会のプログラムの案内が届いております。回覧をさせていただきます。
- ⑧新入会員のプロフィールをみなさんに送付させていただきました宜しくお願い致します。
- ⑨地区大会の登録を締め切らせて頂きました。登録料については個人負担となっておりますので参加される方には徴収させて頂くことになります。尚、宿泊についてはクラブでもたせて頂きます。参加者は24名で土曜日にバスを出す予定であります。詳しい案内は後日参加する方のみご連絡致します。

ライラセミナー報告会



☆地区ライラ委員長 中島嘉昭君

年度初めに案内し説明しなければならない事でしたが、音別の体験学習センター「こころみ」で、先週末3日間のライラセミナーが無事に終了しました事を報告いたします。

主催は2500地区、ホストクラブは音別RC、コ・ホストは白糖RC・釧路北RC。今回のライラセミナーの内容などについては、参加青年の畠山優那さん、小竹美沙さんのお二人、ロータリアンは能登会長、田中幹事、田村会員、小松会員、石井会員、実行委員会広報記録部会の富樫会員、泰地会員、本間明美会員、セレモニー部会坂入会員、小林会員、ライラ委員萩原委員の皆様の方から詳しく報告がありますので、重複しないように話しを進めます。

RYLA(ライラ)は、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と言っております。青年が研修での経験を積んで、将来の指導者としてスキルと人格を養いながら、奉仕、道徳心、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。1959年オーストラリアに生まれ、1971年国際ロータリーが公式行事として採用しました。日本では1976年から始まりましたが、第2500地区では1979～80年度旭川で開催されたのが最初です。今回が31回目の開催となりました。

一昨年度開催30回を契機として、ライラセミナーを見つめ直す事となり、様々な課題を洗い出して検証致しました。地区内クラブを対象としたアンケート調査に対して、真剣にご回答いただきました。今年度増田ガバナーの決断もあり、また数多くの貴重なご意見を頂戴して、セミナーにそれらを出るだけ取り入れて、網羅する事を常に念頭において、実行委員会で話し合い、模索し、方向性を見出して、当日を迎えました。

ところが、施設の限られた収容人数をどうさばくか、大変大きな難題でありました。そこで、ライラセミナーの開催のご案内の文面の中に、「施設収容人数の都合上、後日人数の調整をさせて頂く事をご了承下さい。」と入れて、対応を致しました。登録申し込み期限まではスムーズでしたが、期日後申し込みが若干あり、多少混乱いたしました。当該クラブのご理解のもと、開催実施となりました。

ここで、私とライラの関わりについて触れますが、2006～07年小野ガバナー、千田クラブ会長年度に、地区のライラ委員長、ライラセミナー実行委員長を兼ねました。勿論北クラブがホストクラブで、ネイパルあっけしでの開催で厚岸RCにコ・ホストクラブを務めて戴きました。そして、一昨年クラブ会長時に7分区でライラを開催して貰えないかという話があり、北クラブで受ける意思表示を致しました。その後、前年度柴田ガバナーが、ライラセミナーは実施せず、地区として検証の年度とするが、地区ライラ委員長の要請があり、手を挙げた経緯もあり、更に今年度開催することで2年委員長を務めています。その2回の経験から、ライラ委員長とライラセミナー実行委員長は、近隣クラブでも、同一クラブ内であっても、別々の会員が就任すべきと考えます。全ての事に対して視野を広くとらえ、沢山のアイデアが生まれるなど、数多くの利点や得る事があるものと思っております。



☆釧路北ローターアクトクラブ 畠山奈那さん

8月26日から28日の3日間、音別で行われたライラセミナーに参加させていただきました。

1日目の夕食の焼肉から参加させていただき、スポーツ交流会のパークゴルフには参加できず残念でした。途中参加だったので、グループの人達とうまく馴染めるだろうかという不安や緊張はありましたが、皆さんとても優しく、カウンセラーとしてついてくれたロータリーの方もとても話やすい方ですぐに打ち解けることができ、楽しくおいしい焼肉をいただきました。宿泊施設は、音別体験学習センターこころみという元は学校だった施設に泊まりました。きれいで、過ごしやす、自然に囲まれたとてもよいところでした。

夕食の焼肉を終え、施設に戻り、本当は天体観測の予定だったのですが、天候が悪かったので中止となってしまいました。夜は、スポーツ交流会の賞品などでいただいたお酒やお菓子を食堂に持ち寄り、グループ以外の人達ともたくさんお話をし交流を深めることが出来、本当に楽しい時間を過ごし、さらに仲良くなれた気がしました。部屋に戻ってからも、学生の時のようにみんなでたわいもない会話をしながら、たくさん笑いあって、互いを知ることが出来ました。

2日目は、ラジオ体操から始まりました。前の日とは違って、天気にも恵まれ、暑すぎるくらいで、朝から汗をかいていました。それから、グループで朝食を食べ、体験学習をしました。体験学習はフキ紙作り、そば打ち、アイスクリーム作り、ソーセージ作りの4つがあり、私はアイスクリーム作りを体験させていただきました。みんなでそれぞれ分担して、材料の分量を量り、鍋で温度を測りながら、温めて混ぜ、氷水で冷やしながらまた温度を測りながら混ぜ、後は機械に入れて待つだけという、思っていたよりも簡単な作業でしたが、みんなで協力しながら作業したり、隠れてこっそりつまみ食いをしてながら笑いあったりしてとても楽しかったです。作ったアイスクリームは夕食の時にいただきましたが、とてもおいしかったです。アイスクリーム作りは、予定よりも早く終わってしまったので、他の体験学習も窓の外からでしたが、見学させていただきました。そば打ちを見ていたのですが、力作業だったせいかみんな汗をかきながら作業していて、見ているだけで熱気が伝わってきました。でもすごく楽しそうだったので、いつか機会があれば私もやってみたいと思いました。体験学習も終わり、昼食まで時間も残り、天気もよかったので、外で遊ぼう!!ということになりました。初めは3人で遊んでいたのですが、せっかくなので周りにいた人達にも声をかけてみると、みんな快く誘いののってくれて、気づけば10人以上集まっていました。ドッチボールや鬼ごっこ、リレーなどをやり、みんな小学生に戻ったように汗だくになりながら走ったり、リレーで勝った時は本気で喜び、自然にハイタッチしてしまうくらい一致団結し、夢中になっていました。普段、自然の中で走ったり、遊んだりする機会がなかなかないので本当に楽しく、子供に戻り思い切りはしゃいでしまいました。昼食では、お弁当と体験学習で作ったおそばをいただきました。とても手作り感のある、こしの強いおそばでしたが、暑い目にはちょうどよく、すごくおいしくて、あっという間に食べてしまいました。

午後のプログラムは、2つのライラ基調講演を聴かせていただきました。1つ目は、紋別港ローターアクトクラブさんの小野パストガバナーによる『東日本大震災が教えるもの』という講演でした。実際に被災地へ行った時のお話を聞いたり、写真を見させていただきました。2つ目は、釧路市総務部総務課防災危機管理主幹の佐々木さんによる『災害に強いまちづくり』という講演でした。主に釧路での災害についてのお話だったので、とても興味深い内容でした。釧路の津波ハザードマップをいただいたので、家族と話し合ったり、職場が海に近いので、いざ津波が来た時にどこに避難すればよいかなど確かめるのに、役立てていきたいと思えます。2つの講演はとても勉強になり、色々考えさせられるものでした。講演が終わり、次はライラセミナーのメインとも言える班別討論のミーティングをしました。討論のテーマは『感謝』ただ感謝というテーマと模造紙とペンだけを与えられて、何から始めればいいのか、とにかく何をどう話し合えばいいのか、グループのみんなでも悩みました。でも、悩んでも進まないということで、とりあえずみんなが『感謝』という言葉で思うことをあげてみようということになり、考えてみることにしました。普段、なにげなく使っている言葉について改めて考えるのは、意外と難しいことで思っていた以上に時間がかかりました。私が思う『感謝』とは、『感謝=ありがとう』そして、それは、自分にとってプラスになることをしてもらったり、与えられたりして、嬉しかったり、喜びを感じた時に相手に思う伝えたい想いなのではないかなと思いました。みんなの『感謝』について考えたことは本当ひとそれぞれで、誰かに向けて感謝の言葉をのべる人、感謝の意味を考えた人、自分が聞いた感謝についての話をする人…本当様々で、改めてみんな考えは違って、色んな考えもあるのだと思いました。そしてみんなで自分の意見を出し合った後からが本当に大変でした。みんなそれぞれ意見や想いがあり、どれひとつとして間違っているわけではない中で、班

としてひとつにまとめることは、本当に難しく、どんな方向性にまとめていくのか時間をかけて話し合いました。全然先に進まず、まとめかかっても、やはりみんな自分の考えを持っているので、『それは少し違うんじゃない?』『私はこう思うんだけど…』などと意見が合わず1からまた始める…その繰り返しでした。だんだん焦りや苛立ちをみんなが感じているのがわかりました。それでも、妥協はしたくありませんでしたし、せっかく出し合った意見をそのままみなさんに聞いてほしいという気持ちは全員同じだったと思います。だから、最後まで互いの意見をきちんと聞きあい、納得のいくまで時間をかけて話し合いました。本当に大変でしたが、チームワークがより深まるよいきっかけとなりました。

そしてそれから前の日に中止になった天体観測を行いました。天気が良かったので、とても綺麗に見ることが出来ました。天体望遠鏡で普段みることの出来ない星を見ることが出来たり、星座などの説明を聞きながら、その星座を実際に自分の目で探しながら見ることができて本当に楽しく、とても感動しました。この日の夜は、1日目より慣れてきて仲が深まっていたので、みんなでたくさん語りあいました。1つの部屋に集まって色々な話をしました。でも、ふと気づくと自然とアクトメンバーが集まっていました。地区も全然違い地区行事などでしかお会いすることがなく、1度も話したことのない方ばかりだったのですが、アクトということですぐに打ち解けることができました。アクトについて色々な話を聞かせてもらい、大変勉強になりました。私はまだまだアクト歴も短く、経験も知識も少ないので聞いているばかりだったのですが、とても楽しかったのと同時に、時間も忘れて夢中になってアクトについて語り合う先輩アクターのみなさんを見ていて、私もこんな風になりたいと思いました。2日目もとても充実した1日でした。

3日目も天気に恵まれ、ラジオ体操から最終日が始まりました。朝食後、急遽班対抗リレーをやるということになりました。みんな疲れているはずなのに、文句も言わず集まって、勝ったからといって何かあるわけでもないのに本気で走って、笑ったり、悔しがったり、喜んだりしている姿はみんなが1つになったという証拠なのだと思います。

そして、3日間を振り返りながら感想文を書き、いよいよ班別検討結果報告の時間となりました。なぜかそれほど緊張もなく、むしろ早く発表したいなんて思っていました。それは、アクトで人の前で話すことに少し慣れていたのと、グループのみんながいるから大丈夫。うまくいく!!そう思えたからだと思います。自分達の班の順番となり、みんな1人1人自分の感謝に対する思いを発表することが出来、終わった時は、みんなが『お疲れ様!!ありがとう!!』そう自然と感謝の言葉をかけあい、本当達成感でいっぱいでした。他のグループの発表も見ていて、それぞれまとめ方や、発表の進行の仕方、感謝に対するとらえ方など本当様々で、勉強になりましたし、改めて『感謝』するというのを色々考えさせられました。

そして、最後に閉講式を終え、2泊3日のライラセミナーは終わりました。終わってみると案外あっという間で、最初は早く帰りたいな…なんて思っていたのに、なんだか淋しい気持ちになってしまいました。こんな短い時間しか過ごしていないのに、強い仲間意識が芽生えていました。本当に3日間一緒に過ごし、悩んだり、助け合ったりしてきたグループのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。私は、このライラセミナーを通じてたくさんのことを学びました。同年代の住んでいる所も、職業も違う人達が集まって1つのことを一緒にやることにより、互いに思いやる気持ち、人それぞれ意見や思いが違うということをきちんと受け止め理解し、尊重し合うことの大切さを学びました。意見をぶつけ合ったり、我慢したり、時にはイライラしたりもしてしまいました。でも、最後はみんなであって、達成感に満ち、『ありがとう』と感謝の言葉で終えることが出来て、本当に思い出に残る貴重な経験となりました。そして、今回改めて思ったことがもう1つあります。それは、アクトに入ってよかったということです。私が見ていて、グループで活動している際、中心で引っ張っているのはアクトの人達だったような気がしました。そして私自身、グループを引っ張っていくまでは出来ませんでした。初めて出会った方に自分から積極的に話しかける事が出来たり、話し合いの際、他の方の意見に耳を傾け、受け止めることも出来るようになっていたり、自分の意見もはっきり言えるようになっていたと思いました。アクトに入会する前の私では、こうは出来なかったと思いますし、こんなに充実したライラセミナーにはならなかったと思います。なので、アクトとして活動していることにより、自分自身気づかない間に成長しているのだと実感することが出来ました。本当にアクトに入会してよかったと改めて思いました。3日間のライラセミナーは、とても充実し、自分自身の成長につながるとてもいいものだったと思います。このライラセミナーで学んだことを忘れることなく、仕事や日々の生活に活かしていきたいと思っています。

最後になりますが、今回出会えたすべての人達に感謝すると共に、このような素晴らしい経験をさせていただきましたことを大変感謝しております。本当にありがとうございました。